

事業報告書

第1 平成29年度事業の概要

公社がこれまで行ってきた農地保有合理化事業は、農地中間管理事業が平成26年7月から実施されたことに伴い、新規の農地借入や、購入ができなくなり、以降それまでに購入した保有農地の売却及び貸付を行うことになった。

このことから、平成29年度は、県農林総合事務所、市町の農業担当課及び農業委員会との連携のもと、公社保有農地の売却及び貸付に努め、担い手農家への農地の利用集積等を推進した。

また、畜産振興事業では、辰口、富来の2放牧場における乳用牛等の受託放牧、富来放牧場における哺育育成を実施することにより、乳用牛等の優良後継牛の育成確保など畜産農家の経営の安定・合理化を支援した。

1 保有農地の売却及び貸付事業

(1) 農用地売却事業

能登開発地の穴水町において2.2haを担い手農家に売却するとともに、10年以内の貸付後に売買を行う「農地売買予約契約」を3農家(2.1ha)と締結した。

能登開発地

所在地	件数	筆数	面積	金額	摘要
穴水町	1 件	6 筆	2.2 ha	767,413 円	畑、雑種地

(2) 農用地貸付事業

農用地の貸付については、能登開発地 40.1ha、河北潟干拓農地 246.6ha をそれぞれ担い手農家に貸し付けた。

また、河北潟干拓農地において、1.8ha（169 区画）をふれあい農園として活用した。

区 分	件 数	筆 数	面 積	金 額	摘 要
能 登 開 発 地	11	47	40.1	819,748	
河北潟干拓農地	—	—	—	24,220,375	
普通畑	38	344	199.9	21,276,616	
飼料畑	1	7	44.0	2,187,901	酪農団地飼料畑
施設用地	2	7	2.7	258,858	酪農団地施設用地
計	41	358	246.6	23,723,375	
ふれあい農園	142	—	1.8	497,000	標準区画約 64 m ²
合 計	—	—	288.5	25,040,123	

2 畜産振興事業

(1) 受託放牧事業 (79,134,200 円)

畜産農家の経営の安定・合理化を支援するため、787 頭の育成を実施したほか、308 頭の哺育を行った。

区 分	事 業 量		事 業 費 円	
	受託頭数 (頭)	年間延頭数 (頭)		
育 成	787	145,555	63,961,200	
辰口放牧場	継続	202		62,579
	新規	144		
富来放牧場	継続	256		82,976
	新規	185		
哺 育	308	37,842		15,173,000
富来放牧場	継続	84	37,842	
	新規	224		
合 計	1,095	183,397	79,134,200	

(2) 放牧場機械整備事業 (5,145,120 円)

受託放牧事業の円滑な実施のために必要な機械を更新・購入した。

区 分	整備機械		事 業 費 円
辰口放牧場	バキュームカー	1 台	1,311,120
富来放牧場	哺乳ロボット	1 台	3,834,000
計		2 台	5,145,120

(3) 放牧場施設整備事業 (2,338,200 円)

区 分	整備施設		事 業 費 円
辰口放牧場	牛房連動スタンション 取替	1 件	2,338,200

(4) 内浦駐在所管理運営事業 (34,491,589 円)

内浦駐在所において、県からの委託を受け、能登畜産センターの家畜飼養管理及び草地管理業務を実施した。

(5) 畜産経営環境整備事業 (48,000,000 円)

河北潟の環境汚染防止のため建設された家畜排せつ物処理施設（河北潟ゆうきの里）の円滑な運営を図るため、農事組合法人河北潟酪農組合に運営資金を貸し付けた。